

「子供の心を育てる一声を」

「レジリエンスと特別活動」

和歌山市中学校長会 会長
紀之川中学校 校長 溝口 恵 司

2020年、宇宙飛行士の野口聡一さんが、自身が搭乗する宇宙船の名前を「レジリエンス」と名付けたことが話題になりました。野口さんは、レジリエンス（resilience）とは、変化に対処する能力、強靱性、耐久力、回復力、立ち直る力、復活力、自発的治癒力、困難な状況から回復する力、といった意味であると示されました。コロナ禍に負けない、という願いもこめられていたそうです。

社会の変化が加速度を増し、将来の予測が困難なVUCAの時代と言われる中、未来を担う子供達には、社会の変化に柔軟に対応し、持続可能な社会の作り手として、たくましく生き抜いていく力を身につけることが求められています。まさに、この「レジリエンス」も、未来を担う子供達が身につけるべき重要な要素ではないかと考えます。奇しくも、上記のような社会情勢の中、国の第4期教育振興基本計画でも、強靱さ（レジリエンス）を備えた社会をいかに構築していくかという観点はこのからの重要な課題であると示されています。

子供達の「レジリエンス」を高めていくために、学校でどのようなことができるのでしょうか。実は全ての教育活動の場が「レジリエンス」を高めることにつながっていると思います。特に各学校で普段から取り組んでいる特別活動は、子供達の「レジリエンス」を高める絶好の教育活動の場であると考えます。

学級活動や生徒会活動、体育祭や文化祭、修学旅行等の学校行事などの特別活動は、その目標にもあるように、集団や人間関係の課題を見だし解決するために話し合うこと、様々な意見をまとめ合意形成を図ること、自分や他者を大切にすること、感情をコントロールすること、困難に立ち向かい目標をクリアすることなど、子供達がよりよく生きていくうえで必要な力が育まれる場となっています。「レジリエンス」は、こうした経験を通して結果的に培われていくものであると考えます。

コロナ禍の期間、人と人との直接的なふれあいに制限が設けられ、また人と人との間に距離がとられ、マスクの着用により互いの表情が見えないといった状況が、集団の中で「なすことによって学ぶ」を方法原理とする特別活動の実施に大きな課題となり、各学校で中止や縮小を余儀なくされてきたのではないのでしょうか。アフターコロナの今、もう一度、特別活動の意義や重要性に光を当て、「レジリエンス」の醸成も視野に入れた取組について充実させていく必要があると考えています。



20歳未満飲酒防止街頭キャンペーン

4月17日(水)JR和歌山駅前で15時30分から未成年者飲酒防止街頭キャンペーンが実施されました。和歌山県小売酒販組合連合会主催、和歌山小売酒販組合共催、県警本部等協力のもと日進中学校 和田萌花さんが宣言文を読み上げた後、日進中学校生徒会代表がそれぞれ街頭に立ち「こんにちは 日進中学校です お酒は二十歳になってから飲みましょう」等と大きな声で元気よく街頭の人たちに呼びかけながら、チラシ及びポケットティッシュを配ってまわり、活気のある啓発活動となりました。

未成年者飲酒防止宣言

私和歌山市立日進中学校の代表です。今年もたくさんのお友達を迎え、新学期がスタートしました。私達は、これからの新入生だけでなく、私たちに続く後輩の模範となるような先輩になりたいです。私達は、二十歳になるまでお酒は絶対に飲みません。たばこも吸いません。学校や社会のルールを守り、心と体を鍛え、立派な大人、立派な社会人になれるよう、立派な中学生として自覚を持って、一日一日を過ごし、楽しい学校生活を送ることを誓います。

令和六年四月一七日

参加者代表
和歌山市立日進中学校
和田萌花



少年センター=各種教室実施について (情報モラル・薬物乱用・非行防止 等)

少年センターでは児童・生徒や保護者(地域住人や各種団体等を含む)を対象に各種教室(情報モラル・薬物乱用・非行防止等)を実施しています。中でもSNS関係によるトラブルや犯罪の被害者や加害者になるケースが全国的に増加しており、低年齢化が進んでいます。

各種教室を発達段階に応じて実施することで非行・トラブルを未然に防ぐための一翼をなすものと考えていますので、ぜひ各学校等で計画的な実施をお願いします。

少年センターでも各学校等と日程調整をしながら、できる限り多くの場で実施していきたいと考えています。

各種教室の依頼は和歌山市立少年センター 電話番号 073-425-2351



新任職員紹介

和歌山市立河西中学校より異動してきました草田裕基(くさだひろき)です。

4月からは、関係機関主催のキャンペーン活動への参加、学校や県警などの関係機関との会議、青パトでの児童生徒の登下校見守り、情報モラル教室などの出前授業を通じて、子供たちが安心して学校に通えるよう活動させていただいております。これからもしっかりと学校と関わり、より一層関係機関との連携に取り組んでいきたいと思っております。

令和6年度少年センター職員構成

	令和6年度	令和5年度
少年センター長	山本 賢	山本 賢
専門教育監補	白樫 健	白樫 健
専門教育員	草田 裕基 河西中学校より	田中宣行
事務担当	南 和代	南 和代
事務担当	配属人員なし	山田聖奈
教育指導員	中井伸哉	中井伸哉
教育指導員	和田幸治	和田幸治

*この他に市内3署(西警察署・東警察署・北警察署)より派遣警察官が配置されています。

和歌山市立少年センター 活動報告

[令和5年4月～令和6年3月末]

1 補導活動状況

補導活動	内 容	回 数
特別街頭補導	中高等学校教員と同行	13
街頭補導	センター職員のみ	92
特別一斉街頭啓発	小中高等学校教員と同行	6
登校時補導	センター職員のみ	58
特別補導(夜間・祭り・卒業式等)	センター職員のみ	27
水辺補導	センター職員のみ	14
合 計		210

2 調査研究

① 問題行動(小・中・高等学校)

項 目		小学生件数	中学生件数	高校生件数
不良・ぐ犯	飲 酒	2	15	12
	喫 煙	2	45	73
	怠 学	37	165	84
	粗暴行為	4	192	25
	深夜徘徊	4	76	1
	いじめ	209	266	8
刑罰・法令違反	暴 行	7	4	13
	傷 害	1	5	0
	器物損壊	6	15	4
	窃 盗	21	44	22
	その他	0	17	7

② 不審者情報(小・中・高等学校)

件数 88 件

※件数と合計が違うのは複数の具体的行為があるため

具 体 的 行 為	小学生	中学生	高校生
1 声をかけられる	29	20	5
2 見せられる	2	2	0
3 写真を撮られる	2	3	4
4 つけられる	14	10	5
5 さわられる(強制わいせつ)	0	2	0
6 暴行を受ける	1	0	0
7 その他	10	9	3
合 計	58	46	17

3 少年相談 ※相談件数()は保護者内数

学校種別	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
件数(保護者内数)	9 (4)	86 (17)	2 (0)	1 (1)	98 (22)

4 広報啓発活動 ※青色回旋灯装着車による安全パトロール実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数(件)	13	18	17	13	8	17	15	14	12	11	13	19	170
実施小学校区(校)	78	50	79	81	66	107	79	82	78	72	83	66	921

5 教室・講演実施状況(小・中・高等学校・その他・保護者・教職員等)

※上の数字は実施学校数、()の数字は授業を実施した時間数を表す。合計が違う場合は、授業参観等で児童と保護者が合同で教室を実施した場合や、児童・生徒と保護者・教職員が別々に実施した学校等があるため。

教室・講演名	受講人数	小学校 (時間数)	中学校 (時間数)	高校・その他 (時間数)	保護者・教職員等 (時間数)	実施合計 (時間数合計)
情報モラル教室	10048	26 (75)	17 (31)	7 (9)	15 (20)	58 (125)
喫煙・飲酒 薬物乱用防止教室	2237	2 (4)	8 (10)	4 (4)	1 (1)	14 (18)
非行・いじめ防止教室	193	1 (2)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (4)
その他(研修・講演等)	1850	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	3 (3)
防犯教室 ※警察と連携して実施	376	3 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (4)
合計	14704	32 (84)	26 (42)	15 (17)	17 (22)	82 (154)

6 「少年センターだより」発刊状況

月	4月号	7月号	10月号	1月号
発刊部数	650部	650部	650部	650部

7 主な連携機関との会議

和歌山市学校・警察補導連絡協議会 和歌山市中学校生徒指導教育研究会 和歌山県少年保護関係機関会議
和歌山市要保護児童対策地域協議会 和歌山市小学校生活指導教育研究会 和歌山市少年補導委員会
第2ブロック生徒指導連絡協議会 和歌山県青少年(補導・相談)センター連絡協議会 他

8 環境浄化活動

① 環境浄化職員活動実施状況

活動内容	回数	立入店数
有害図書に関する活動	34	65
DVD・タバコの自動販売機に関する活動	46	142
その他		
合計	73	207

② 小中高生社会参加活動実施状況

活動内容	実施回数	参加学校	校数	人数
マナーアップキャンペーン	3	小学校	1	7
児童虐待防止	1	中学校	15	139
未成年飲酒防止啓発		義務教育学校		
薬物乱用防止啓発	1	高等学校	5	54
環境美化活動	2	合計	21	200
犯罪防止等啓発	6			
喫煙防止キャンペーン				
その他				
合計	13			